



子どもが主役
学び、育ち、輝く

KOKA

プロジェクト

子どもたちの貴重な成長の場となる子ども会。しかし、年々子ども会加入者数が少なくなっています。地域とのつながりや異年齢でいろいろな楽しい体験ができる子ども会の活動は、地域の活性化にも影響します。今回はそんな子ども会活動について紹介します。問 市生涯学習課 ☎ 0994-31-1138

幼い頃に様々な体験を経験してきた子どもとそうでない子どもは、大人になった時に社会性において明確な差が出ます。これからの時代に必要なのは、自分たちで考えて行動できる力です。子ども会は生きていくうえで必要な力を体験を通して学ぶことができる貴重な場であると思っています。

昔は子どもが生まれたら、地域の様々な会に参加して交流することが当たり前でしたが、近年は両親が共働きであることや地域行事に参加を遠慮する世帯も増えてきており、人間関係が希薄になっているように感じます。これは、ひとえに活動の拠点が変わってきていることを示していますが、人口減少が進んでいく中で、地域の協力体制を作ることが、地域の存続に必要不可欠です。

INTERVIEW

子ども会は将来に必要な経験や学びを得られる場

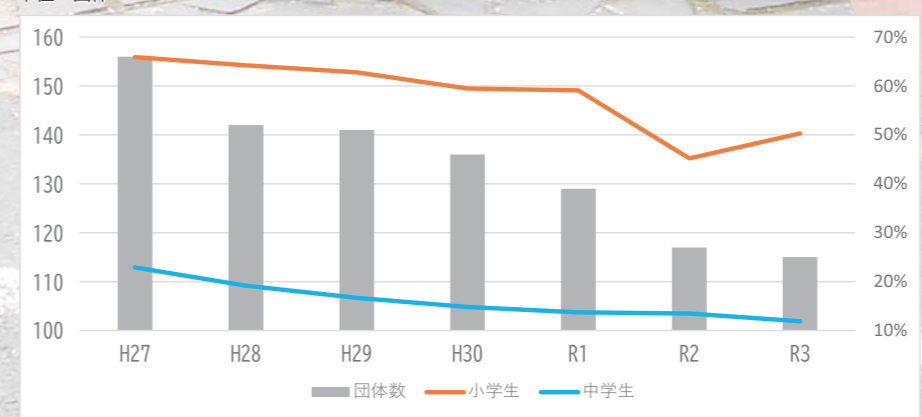
現在は、市の枠を超えた大隅全体の広域的な子ども会に関する活動のほか、学校や町内会などにも取り組んでいます。私たちの住む鹿屋が自分たちの誇れる・将来帰って来たいと思える場所であるよう市全体で未来ある子どもたちを育てていけることを望んでいます。



自ら子どもたちと一緒に体験することがモットー

鹿屋市子ども会育成連絡協議会
みやした けいこ
宮下 恵子 会長

市内の子ども会の団体数・加入率の推移



21世紀型 鹿屋 Original
「子ども会」構想

KOKA プロジェクトとは
カノヤ オリジナル
KANOYA ORIGINAL
コドモカイ アソシエーション
Kodomokai Association

KOKAプロジェクトは、近年減少傾向にある子ども会の活性化を図るため、全員参加のための方策や子ども会活動の再構築を検討して、市全体で取り組むプロジェクトの事です。子ども会活動に参加したくても子ども会がないところは、新しく子ども会を作ってもらったり、子ども会活動の在り方や育成会（保護者）・育成者（地域の全ての大人）の関わり方を示したりしていきます。

◀ 6年前と比べると、子ども会は41団体少なくなり、加入率も小・中学生共に減少傾向にあります。